

地方創生関連交付金の活用状況について

みやま市では、地方創生の推進を積極的に図るため、「みやま市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定に先行して、国の地方創生先行型交付金を活用することにより、地方創生に資する下表の事業を実施してきました。

また、平成28年度では、地方創生加速化交付金を活用して、官民で取り組む新しい人の流れと雇用創出事業を展開してきました。

これら事業が概ね順調に実施できたことにより、本年度の地方創生の取り組みの本格的な実践に弾みをつけることができます。

1. 地方創生先行型交付金事業の実績

事業名	総事業費（円）
① みやま市総合戦略策定事業（H27.3月補正） ・戦略策定に係る基礎調査等	4,874,000
② 道の駅機能強化事業（H27.3月補正） ・直売所の増床工事による販売拡大等	2,288,000
③ 第3子以降出産祝金（H27.3月補正） ・第三子以降出産された保護者に10万円の祝い金制度	4,145,000
④ HEMSプロジェクト（H27.3月補正） ・HEMSを活用し、電気の見える化、バーチャル商店街などのシステム開発	46,278,000
⑤ みやまスマートコミュニティプロジェクト（H27.9月補正） ・産学官事業として、電力需給オペレーションの課題解決に向けたシステム開発	50,000,000
⑥ シティプロモーション戦略事業（H27.9月補正） ・戦略プラン策定に係る基礎調査等	7,000,000
⑦ 地方創生及び観光情報発信アプリ作成事業（H27.9月補正） ・市内周遊させる仕組みを搭載したスマートフォン用アプリケーションの開発	3,000,000

2. 地方創生加速化交付金事業の実績

事業名	総事業費（円）
⑧ 官民で取り組む新しい人の流れと雇用創出事業（H28年6月補正） ・ブランド品開発デザイン強化、周遊コース・体験プラン開発、足湯整備、PRツールの作成など	22,000,000

3. 地方創生先行型交付金の重要業績指標（KPI）の実績について

事業名	重要業績評価指標(KPI)	基準値 (H27.10)	目標値 (H32.3)	現状値 (H29.3)	今後の展開
みやま市総合戦略策定事業					庁内会議及び外部委員による創生会議における検証を経て事業の取扱いについて協議します。
道の駅機能強化事業	道の駅みやま売上額	791,881 (千円)	900,000 (千円)	939,529 (千円)	直売所の出荷者募集を広報等に掲載し、会員の増加を目指します。
	道の駅みやま購入者数	55.3 (万人)	60 (万人)	60 (万人)	
第3子以降出産祝金	第三子以降出生者数	67 (人)	80 (人)	48 (人)	今後とも事業を継続し、移住・定住促進に努めます。
HEMSプロジェクト	HEMS設置者数	2,070 (件)	4,000 (件)	2,086 (件)	九州大学及び連携自治体と一緒に生活支援サービスにおけるキラコンテンツを開発し、普及に努めます。 買物サービスの利用向上に向けたタブレット教室など、市民との連携強化を図ります。
	HEMS買物サービス売上額	—	20,000 (千円)	400 (千円)	
みやまスマートコミュニティプロジェクト	スマートエネルギー電力売上額	128 (百万円)	1,380 (百万円)	760 (百万円)	データ解析を基にアルゴリズムをより精緻化し、発電量と必要量を一致させることで経営リスクを最小限にとどめます。
	スマートエネルギー市内普及率	—	43%	14.7%	
	スマートエネルギー利用世帯の電気料金の縮減率	—	-20%	-5%	
シティプロモーション戦略事業	市ホームページアクセス数	622 (千回)	1,000 (千回)	756 (千回)	H29年度はPR動画の制作を予定しており、その活用も含め、より効果的に市の魅力を発信していきます。
	県内における本市認知度	70.3%	95%	—	
	ふるさと寄付金額	10,768 (千円)	50,000 (千円)	123,859 (千円)	
	地域ブランド調査魅力度全国ランキング(1,000市町村)	916位	600位以内	950位	
地方創生及び観光情報発信アプリ作成事業	観光入込客数	533 (千人) (H25)	690 (千人)	665 (千人) (H27)	市内観光地のモデルコースを充実させることで観光地の活性化、本市の知名度向上に働きかけます。

4. 地方創生加速化交付金の重要業績指標（KPI）の実績について

事業名	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (H27. 10)	目標値 (H32. 3)	現状値 (H29. 3)	今後の展開
官民で取り 組む新しい 人の流れと 雇用創出事業	観光入込客数	533 (千人) (H25)	690 (千人)	665 (千人) (H27)	<p>(ブランド開発) 本事業で開発された商品を皮切りに、本市における特産品の中から一定の基準に達した優れた商品を「推奨品」として認定し、市内外のイベント等で広くPRしていきます。</p> <p>(周遊コース) 既存プログラムをさらに魅力的なものにしていくとともに、企業等の参加を促すことで、通年実施可能なプログラムが増えるように努めます。</p>
	経済波及効果	712 (百万円) (H25)	920 (百万円)	820 (百万円) (H27)	<p>(足湯) 長田地区で進められているホテル建設が進むことで、同施設との連携をはかります。</p> <p>(デジタルサイネージ) 市内のスポットに設置し、デジタルサイネージを活用したスタンプラリー等を行います。</p>